

令和6年度第4回富山市入札監視委員会 審議概要

日 時	令和7年2月20日（木）午後1時30分から
場 所	富山市役所議会棟8階第3委員会室
委 員 (委員数5名) 出 席 3名	委員長 古 田 俊 吉 （富山大学名誉教授） 委 員 大 石 貴 之 （弁護士） 委 員 佐 藤 綾 子 （富山国際大学教授）
次 第	1 開会 2 審議 ・ 富山市の入札・契約手続及び運用状況 ・ 抽出案件の審議 3 審議結果のまとめ 4 閉会
対 象 期 間	令和6年7月1日から令和6年9月30日まで
抽 出 案 件 (落札率)	16件（対象案件件数662件） ① 市道向新庄60号線外1線道路災害復旧工事(89.56%) ② 06災2010-6006水橋常願寺農道災害復旧工事(99.32%) ③ 富山市保健所空調設備改修工事（100%） ④ 八尾地域木製街路灯改良(第2工区)工事（88.82%） ⑤ 熊野小学校長寿命化改良（その1）機械設備工事(100%) ⑥ 大久保小学校仮設校舎賃貸借（73.38%） ⑦ 呼吸器血管外科 胸腔鏡手術4Kカメラシステム（99.81%） ⑧ 40m梯子車分解整備（93.63%） ⑨ 流域関連富山公共下水道速星排水区笹倉雨水幹線外1線実施設計業務委託（95.01%） ⑩ 富山市防災情報伝達手段検討業務委託（100%） ⑪ 公園内遊具点検業務委託（98.12%） ⑫ 富山市立図書館14分館運営業務委託（99.07%） ⑬ 令和6年度富山市障害者相談支援事業業務委託（100%） ⑭ 高齢者等の運動成果の見える化及び運動継続支援用アプリ等導入業務委託（100%） ⑮ 牛岳温泉スキー場及び周辺施設再整備に関する民間活力導入可能性調査支援業務委託(94.40%) ⑯ 富山市自動運転実証事業業務委託（100%）
審 議 の 概 要	別紙のとおり
委 員 会 の 意 見	審査対象期間の建設工事、建設コンサルタント業務、物品購入等、業務委託及び賃貸借に係る入札、契約事務については、概ね適正に行われていたと判断する。

別 紙
審議の概要

令和6年度第二四半期分抽出案件の審議
① 案件名 市道向新庄60号線外1線道路災害復旧工事 担当課 建設部 道路河川管理課
<説明>
<質疑> 落札率が90%を切っている理由にはこういった要因が考えられますか。予定価格が高いためですか。
<回答> 発注時点では最新の資材単価で積算しており、予定価格は適正な価格であるといえます。また、落札事業者が履行場所周辺の事業者であるため、運搬費等の経費削減が出来たと考えています。
<質疑> 第2順位の事業者との入札価格が僅差ですが、この事業者は履行場所に近い事業者であるため、価格競争が働いたのですか。
<回答> 地理的に近いということもありますが、本案件の履行場所の周辺で災害復旧修繕等を行っており、落札した場合、そのまま資材を運搬し使用することができることを踏まえて入札されたのではないかと考えています。
② 案件名 06災2010-6006水橋常願寺農道災害復旧工事 担当課 農林水産部 農村整備課
<説明>
<質疑> 事業者の選定はどのように選定しましたか。
<回答> 指名業者選定要領に従い、予定価格が50万円以上の案件については、4者以上選定することになっています。本案件では地理的条件を考慮して4者を選定しました。
<質疑> 災害が発生してから工事発注までに期間が空いた理由は何ですか。
<回答> 災害復旧工事は、国及び県が行う災害査定を受けた工事内容を発注しており、災害査定が済み次第、順次発注しているためです。
③ 案件名 富山市保健所空調設備改修工事 担当課 福祉保健部 保健所地域健康課
<説明>
<質疑> 1者応札となった理由はどう考えていますか。
<回答> 工期が長く、配置技術者の確保が困難であること及び受注金額が大きいことから、事業者が絞られたのではないかと考えます。
<質疑> 更新予定の空調設備を設置した事業者は、入札において優位になることはありますか。

<回答> 工事施工内容は簡単なものであり、どの事業者でも施工可能と考えています。空調設備を設置した事業者という理由で入札において優位になることはありません。
<質疑> 分割発注は検討しましたか。
<回答> 保健所の本館と別館での分割発注を検討していましたが、建物ごとに故障が頻発していて時期を分けることが難しい状況にあることと、別々で発注すると工事動線が交錯する恐れがあるため避けました。また、一括発注にすると設計価格が抑えられることから一括発注としました。
<質疑> 落札率が100%となった理由はどのように考えていますか。
<回答> 設計価格は、国土交通省により定められた積算基準を用いて適切に積算されている中で、物価や人件費等が高騰していることも考慮した金額で入札された結果だと考えています。
④ 案件名 八尾地域木製街路灯改良(第2工区)工事 担当課 建設部 土木事務所建設課
<説明>
<質疑> 調査基準価格を下回ったために低入札価格調査を行っており、電気工事の場合、設置する街路灯の規格が合えば、より安価なものがよいと思われますが、調査を行った見解を教えてください。
<回答> 今回の案件では、木製街路灯の根本の腐食を防止する塗装や破損箇所の修繕が主となり、単に製品を取り替えるものではありません。性能的に問題なければ、既製品を同等品として用いることで金額が抑えられるかもしれませんが、交換する部位については工場製作品（特注品）となるため、品質の審査が必要と考えています。
⑤ 案件名 熊野小学校長寿命化改良（その1）機械設備工事 担当課 教育委員会事務局 学校施設課
<説明>
<質疑> 1者応札で落札率100%である理由はどのように考えていますか。
<回答> 国土交通省の積算基準に基づき積算されている適切な予定価格でも、昨今の建設業においては技術者等の不足により入札がされにくい状況にあるため、1者応札になったと考えています。
<質疑> 後続の工事はいくつありますか。
<回答> 熊野小学校の南側校舎から順に施工予定で、その3工事まで行う予定です。
<質疑> 人手不足になっているのはどのような業種の方々ですか。

<回答> 建設業界全般ではありますが、実際の現場では、現場代理人や監理技術者が不足しています。監理技術者の資格要件が緩和されてきていますが、人手が足りていないのが現状です。
⑥ 案件名 大久保小学校仮設校舎賃貸借 担当課 教育委員会事務局 学校施設課
<説明>
<質疑> 辞退理由について分かる範囲で教えてください。
<回答> 予定価格の積算自体は適切であると考えますが、人手不足や、資材価格の高騰が原因で辞退されたものと推察します。
<質疑> 校舎の賃貸借とのことですが、具体的な内容を教えてください。
<回答> 長寿命化改良工事に際してプレハブの仮設校舎を賃貸借し、児童たちは工事期間中、当該仮設校舎で授業を受け、賃貸借期間が終了したら返却するものです。
<質疑> 賃貸借する仮設校舎について、質は問題ありませんか。
<回答> 本市が求める質は確保されていると考えます。
⑦ 案件名 呼吸器血管外科 胸腔鏡手術4 Kカメラシステム 担当課 病院事業局 管理部 契約出納課
<説明>
<質疑> 辞退理由について分かる範囲で教えてください。
<回答> 6者が辞退していますが、具体の理由がなかった事業者が1者、物品の取り扱いがないとの回答があった事業者が5者でした。
<質疑> 指名事業者選定理由について、手術室で用いる医療機器を取り扱うことができる事業者は限られるとありますが、該当する事業者が8者に限られるため、8者のみ選定したということでしょうか。
<回答> そのとおりです。
<質疑> 応札した全事業者について、予定価格とほぼ同額の金額で応札されていますが、ほとんどが機器の金額と思ってよいですか。設置及び設定の費用等の内訳は分かりますか。
<回答> 具体的な内訳は把握していませんが、設置や調整に費用や人員を割かれるような機器ではありませんので、機器の金額がほとんどを占めていると考えてよいと思います。
⑧ 案件名 40m梯子車分解整備 担当課 消防局 総務課
<説明>

<質疑> 製造したメーカー及び技術者でないと、分解整備は難しいということでしょうか。
<回答> そのように聞いております。
<質疑> 何年に１度このような分解整備を行うのでしょうか。
<回答> 稼働時間等を加味して、本市では１０年に１度行っています。
<質疑> 購入した時点で、購入した事業者と特命指名による随意契約を行うことは決まってくるという理解でよろしいでしょうか。
<回答> そのとおりです。日本で梯子車を制作している事業者は２者のみで、購入の際にどちらかが落札すれば、分解整備は当該事業者をお願いすることになります。
⑨ 案件名 流域関連富山公共下水道速星排水区笹倉雨水幹線外１線実施設計業務委託 担当課 上下水道局 下水道課
<説明>
<質疑> 土木コンサルタントの入札参加資格を持つ市内の事業者は何者ですか。
<回答> ３６者です。
<質疑> 入札参加資格に「官公庁等が発注した雨水幹線の実施設計業務を元請けとして行った実績があること」が要件に加わると、入札できる事業者の数はどのくらいになると考えていますか。
<回答> おおよそ市内の事業者で８者から１０者ほどであると考えています。
<質疑> 発注方式を条件付き一般競争入札とした理由を教えてください。
<回答> 富山市の発注基準では、建設コンサルタント業務等は、設計金額が５０万円を超える場合は、条件付き一般競争入札も行うことができることから、震災復旧関係で繁忙期の事業者が多い中、入札範囲を広げることにより応札の可能性を高めるためです。
⑩ 案件名 富山市防災情報伝達手段検討業務委託 担当課 防災危機管理部 防災危機管理課
<説明>
<質疑> コンサルタント業務については、積算根拠が不明瞭になりやすく、今回の案件についても落札率が１００％となっていますが、予定価格の算出はどのように行われたのでしょうか。

<回答> 初めての検討業務委託でしたので、どこまでの内容を仕様書に反映するかを検討する際に、3者程度に参考見積を取り、業務内容の範囲を決定しました。また、金額に大きな乖離がないかを確認し、予定価格を算出しました。
<質疑> 本業務委託の落札事業者に検討業務は全て任せるとのことでしょうか。市にはアイデア等はないのですか。
<回答> 本市でも、防災無線の今後の在り方について検討していることはあります。具体的には、防災無線の代わりに、IP無線を使用する、スマートフォンのアプリを利用して、災害の情報を一斉配信する方式に切り替えること等を検討しています。切り替えることが適切か、併用するべきか、ランニングコストはどのくらいかかるのか、切り替えのタイミングはいつがよいか等を判断するために本業務委託を発注しています。
⑪ 案件名 公園内遊具点検業務委託 担当課 建設部 公園緑地課
<説明>
<質疑> 点検の対象となる公園はどのくらいありますか。
<回答> 富山市全域の公園は、約1,100箇所あり、そのうちの1割は指定管理者が管理しているため除き、残りの9割が今回の業務委託の対象となっています。
<質疑> 製造メーカーが随意契約で保守点検をするパターンはよくあると思いますが、公園遊具については、他の事業者でも点検ができるということでしょうか。
<回答> 点検する遊具に関しては、戦後間もないころから整備されてきたことで、様々なメーカーの様々な遊具が混在していることから、全国統一の遊具点検の有資格者が在籍している事業者を指名事業者として選定し、入札を行ったものです。
<質疑> 富山県内には遊具点検の有資格者は2者しかいないのですか。
<回答> そのとおりです。県内事業者だけでは、必要な指名事業者数に満たないため、県外事業者も指名事業者として選定しております。
<質疑> 1者で全ての公園について点検できるのですか。
<回答> 非常に数が多いので、市内を2つに分けて発注することも検討しましたが、聞き取りで、工期さえ適切に確保されれば可能との回答があったため、1者で全ての公園の点検を行うこととして発注しております。
⑫ 案件名 富山市立図書館14分館運営業務委託 担当課 教育委員会事務局 図書館
<説明>
<質疑> 契約金額の内訳について教えてください。

<回答> ほとんどが人件費です。
<質疑> 辞退理由について分かる範囲で教えてください。
<回答> 司書資格を有する者の配置を求めていますので、14分館分となると、かなりの人数の有資格者を確保する必要があり、人員確保が難しい事業者は辞退されたのではないかと思います。
<質疑> 人員に余裕のある事業者が応札されたという理解でよろしいですか。
<回答> そう考えます。今回の落札事業者は、図書館本館の運營業務委託も受託していることに加え、人員の確保も十分に可能であることから応札されたのではないかと思います。
⑬ 案件名 令和6年度富山市障害者相談支援事業業務委託 担当課 福祉保健部 障害福祉課
<説明>
<質疑> 株式会社サポートアンドケアは、どのくらい前から本業務委託を受託しているのでしょうか。
<回答> 4、5年前から本業務委託を受託しています。
<質疑> 他には候補者はいなかったということでしょうか。
<回答> 相談支援を行うのに必要な指定を受けている事業者の中でも、24時間体制で相談支援が可能であることに加え、本市の委託相談支援事業所が設置されていない婦中地域においても事業を行っている事業者が、株式会社サポートアンドケアしかないことから、特命指名による随意契約を行ったものです。
<質疑> 業務に対する評価も必要だと考えますが、チェック体制は取られているのですか。
<回答> 附属機関で自立支援協議会を設置しており、年間の相談件数やこういった対応をしたか等を把握し審査をしていますので、必要な評価体制はできていると考えます。
⑭ 案件名 高齢者等の運動成果の見える化及び運動継続支援用アプリ等導入業務委託 担当課 福祉保健部 長寿福祉課
<説明>
<質疑> こういったプロセスでこのアプリに決定したのでしょうか。
<回答> 本人が自分で入力する健康アプリが一般的な中で、管理者側が対象者にフィードバックする際に活用できる、管理者向けの画面機能があるものであること、対象者に合わせてプログラム内容の項目を設定できるものであること等を条件に検討し、該当するアプリが本アプリしかなかったため、決定に至りました。

<質疑> 他の自治体で導入され、既に効果が出ているものなののでしょうか。
<回答> 本アプリ自体が元々はアスリートの指導者側に目線を置いたアプリであり、対象者が高齢者ではありますが、指導者側が管理及び指導できるという面で選択したものになりますので、自治体でこういった使い方をしているのは本市が初めてではないかと思います。
<質疑> 他の自治体に例がないことを先行して取り入れることについて、懸念はないのでしょうか。
<回答> 懸念はありつつも、本アプリが本事業に一番適していると考えていますので、まずは1年間の契約で評価しようと考えています。また、今後優位性のあるアプリが見つかった場合には、切り替えもできるよう検討していきたいと思います。
⑮ 案件名 牛岳温泉スキー場及び周辺施設再整備に関する民間活力導入可能性調査支援業務委託 担当課 商工労働部 観光政策課
<説明>
<質疑> 1者を除く全ての事業者が辞退し、随意契約に切り替えざるを得なかったということですが、辞退理由を分かる範囲で教えてください。
<回答> 昨今スキー場経営は非常に厳しいものがあり、他の自治体のスキー場においても廃止せざるを得ない状況にあるスキー場が散見される中で、牛岳温泉スキー場の周りには、健康センター等の様々な施設があるため、それらを一体的に整備することについても非常に難しいといった声をいただいております。
<質疑> 難しい内容の業務委託とのことですが、株式会社建設技術研究所は市が求める構想や計画を提出できると考えますか。
<回答> 類似案件の実績等を勘案すると、本業務が履行可能なノウハウを持っている事業者であると考えます。また、現在のところ本業務委託も順調に進行しております。
⑯ 案件名 富山市自動運転実証事業業務委託 担当課 活力都市創造部 交通政策課
<説明>
<質疑> アイサンテクノロジー株式会社は、他の自治体でも同様の業務の実績があるところなののでしょうか。
<回答> 自動運転を扱う事業者は全国に5者程度しかなく、約100箇所の自治体はその5者に対して同様の業務委託を発注している状況です。アイサンテクノロジー株式会社は、今年度、約20箇所の自治体で同内容の業務委託契約を締結したと聞いています。
<質疑> この業務の重要度や緊急度についてはどの程度のものと考えていますか。

<回答>

運転手不足の解消の面で効果があると考えますので、重要な事業であると捉えています。ただ、緊急度という面では、人が乗らずに運転するところまでいってようやく運転手不足の解消に繋がるのですが、許認可事務や、技術的な課題等があり、まだまだ時間を要するので、段階的に進めることができればよいと思っています。